



資料提供

令和5年4月28日

「脱炭素先行地域」選定に関する市長コメント

本日、脱炭素先行地域の第3回選定結果が国（環境省）から公表され、本市と株式会社とっとり市民電力、株式会社山陰合同銀行、公立大学法人公立鳥取環境大学との共同提案が選定されました。

2021年2月に「2050年ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、同年5月に「SDGs未来都市」に選定されている本市にとって、大変喜ばしく、同時に身が引き締まる思いです。

選定された提案内容は、若葉台地区と佐治町全域のエリアにおいて、地域の特性を活かした多様な再生可能エネルギーを導入し、最新のデジタル技術も活用しながらエネルギーの地産地消を進めることで脱炭素を実現する計画です。

また、「多極ネットワーク型コンパクトシティ」における地域生活拠点に位置付けられる両エリアにおいて、地域課題となっている交通ネットワークの再構築や災害耐性の向上、林業・農業の振興につなげ、中山間地域の再生・持続モデルを実現することとしています。

中山間地域を多く抱える本市にとって、地域脱炭素化の取組を通じて、過疎化の進行を食い止め、安全・安心に暮らし続けられるまちを目指す今回の取組は、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現はもとより、強靱で活力ある次の時代の中山間地域の自立モデルとなり得ると期待しており、産学金官連携のもと地域住民のみなさんの参画もいただきながら積極的に取組を進めてまいります。

鳥取市長 深澤 義彦